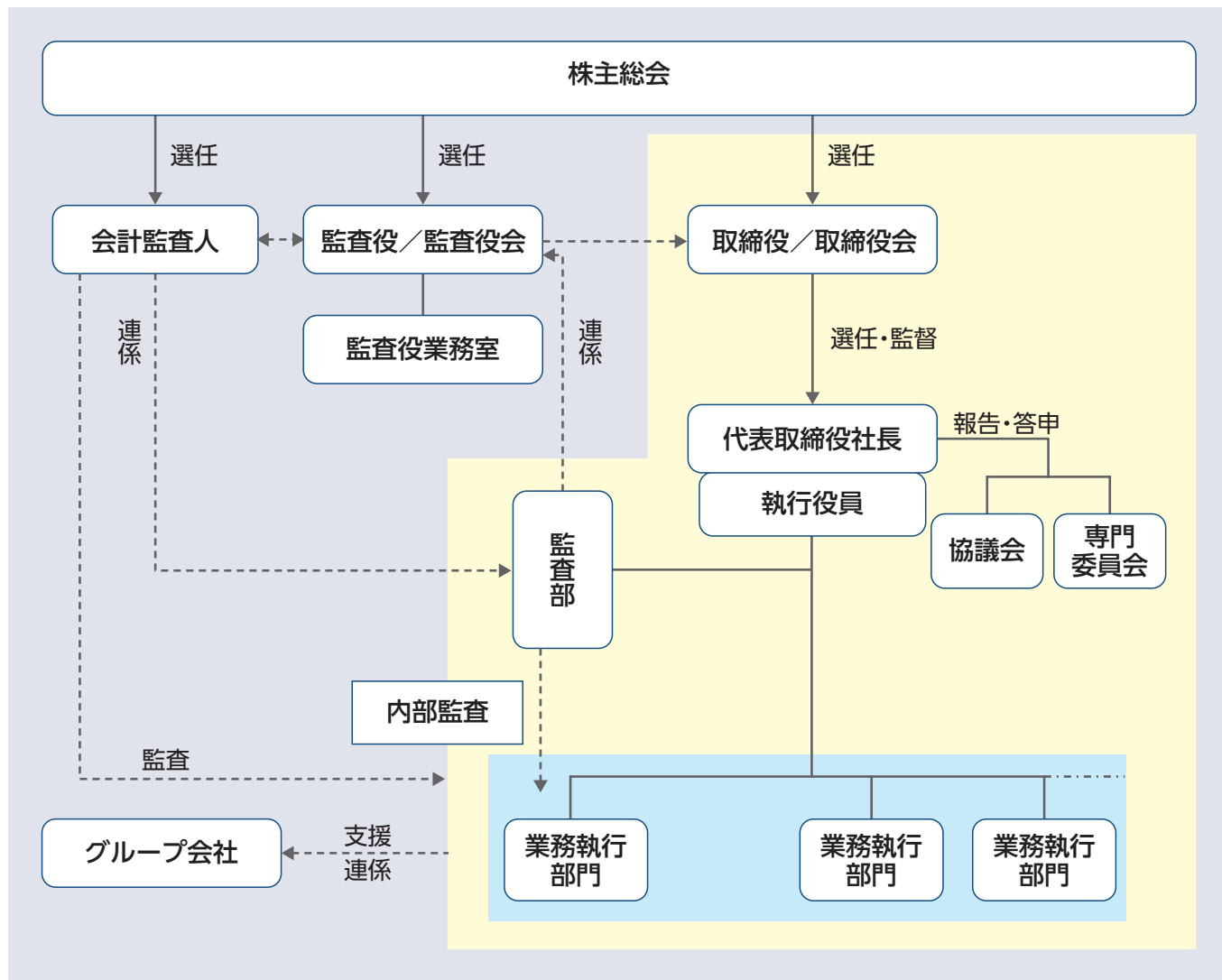


マネジメント報告

企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高め、コーポレートガバナンス体制の充実・強化を図ることによって、企業価値の向上を目指しています。

▶コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本に「建設業法の遵守に関する行動基準」他各種諸規定を定め、コンプライアンスを推進しています。法令の遵守のみに終始することなく、社会的要請にも応えるための体制を整えています。

- 社員一人ひとりに対してコンプライアンスの精神を徹底するために、毎年、全国の事業所において全従業員参加によるコンプライアンス研修を開催しています。ここでは、諸規定の解説だけでなく、独占禁止法、建設業法、入札・談合、産業廃棄物処理法からハラスメントなどの人権問題にいたるまで、多岐にわたり具体的な問題を取り上げ、全社

的なコンプライアンスの強化に努めています。

- コンプライアンス教育の一つの手段としてネットワークを利用したeラーニングも実施しています。建設業法・情報セキュリティ・労務安全・環境・ハラスメント等、毎回テーマを変え、自己点検をしています。
- 営業活動におけるコンプライアンスとして社内規定「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」に則り、毎年入札業務の監査を行っています。





情報セキュリティ対策

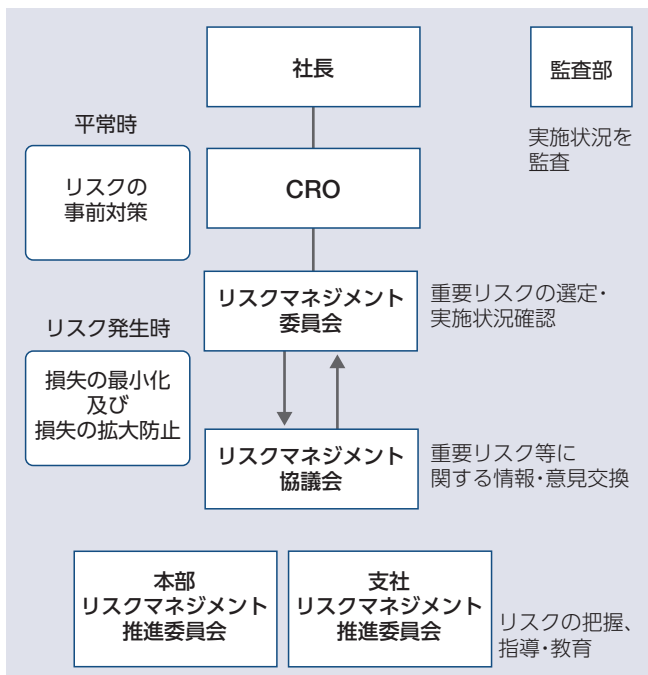
情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便をもたらした反面、情報テロリズムやインターネットによるトラブルなど大きな危険性を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報部門の情報セキュリティレベルの向上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規定」など、様々な情報セキュリティ対策を講じています。

- 個人によるTwitter、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的若しくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、又、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止及びリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

▶ リスクマネジメント実施体制



マネジメントシステム

現在、大成ロテックは、3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。そのうち、活動内容が社外から見えやすい安全衛生マネジメントシステム(SMS)については、COHSMS(コスモス)に基づく自己宣言方式を採用し、管理しています。また、運用実態が社外から見えにくい品質マネジメントシステム(QMS)と環境マネジメントシステム(EMS)については、国際規格のISO9001とISO14001に基づく外部認証登録を行い、第三者機関からその運用状態について認証登録を受けています。

【品質マネジメントシステム(QMS)登録の概要】

JIS Q9001:2008(ISO 9001:2008)
認証番号 MSA-QS-22

【環境マネジメントシステム(EMS)登録の概要】

JIS Q14001:2004(ISO14001:2004)
認証番号 MSA-ES-312

